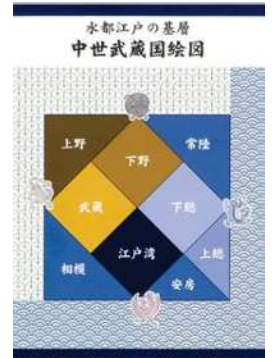


玉川をめぐる歴史と景観

～中世武蔵国絵図を読み解く～



© 法政大学江戸東京研究センター



© 法政大学江戸東京研究センター



富嶽三十六景 武州玉川
(葛飾北斎)



源義家像 (府中市)



大國魂神社
(府中市)

多摩地域の住民にとって生活の場である武蔵野台地に流れる多摩川は、かつて「玉川」と呼ばれていました。また、その水利に目を付けた大和朝廷によって、武蔵国に8世紀に置かれた国府府中と武蔵国分寺は、今日でも地名に残っています。

「中世武蔵国絵図」(上図参照)を手掛かりに、座学と現地視察を通じて、現代につながる歴史的景観としての武蔵野台地と多摩川を新たな視点で実感するのが本連続講座の目的です。

3月9日(土) 午後2時～3時30分	3月16日(土) 午後1時～4時	3月23日(土) 午後2時～3時30分
講座(座学)	現地視察	講座(座学)

定員：20人(先着制) 受講料：2,000円(通し受講のみ)

会場：三鷹ネットワーク大学ほか

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込期間 ▶ 2月6日(火)9:30～3月8日(金)21:00

電話 0422-40-0313

FAX 0422-40-0314


URL <https://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

Web 申込はこちらから



文化・教養	三鷹ネットワーク大学企画連続講座 玉川をめぐる歴史と景観 ～中世武蔵国絵図を読み解く～	D235 3800
-------	---	--------------

講座趣旨
<p>多摩地域の住民にとって生活の場である武蔵野台地に流れる多摩川は、かつて「玉川」と呼ばれていました。また、その水利に目を付けた大和朝廷によって、武蔵国に8世紀に置かれた国府府中と武蔵国分寺は、今日でも地名に残っています。</p> <p>「中世武蔵国絵図」(※)を手掛かりに、座学と現地視察を通じて、現代につながる歴史的景観としての武蔵野台地と多摩川を新たな視点で実感するのが本連続講座の目的です。</p> <p>※「中世武蔵国絵図」は、水系と道に着目し、自然基盤構造と歴史を重ねて読み解くエコヒストリーの手法を用いて武蔵国を中心に関八州を描いた絵図です(法政大学江戸東京研究センター発行)。次の二次元コードからダウンロードできます。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

講座開催概要	
日 程	第1回 3月9日(土) 午後2時～3時30分 第2回 3月16日(土) 午後1時～4時 第3回 3月23日(土) 午後2時～3時30分
定 員	20人(先着制)
回 数	3回(通し受講のみ)
受講料	2,000円
資料	中世武蔵国絵図(印刷版)等
難易度	★★★
会 場	三鷹ネットワーク大学ほか
申し込み	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> Web 窓口 FAX 郵送 </div> 申込期間:2月6日(火)午前9時30分 ～3月8日(金)午後9時

講座日程		内容	会場
日 時	3月9日(土) 午後2時～3時30分	講座(座学)	三鷹ネットワーク大学
	3月16日(土) 午後1時～4時	現地視察	東京都府中市
		[現地視察の行程] 午後1時に京王線・府中駅南口改札に現地集合、徒歩で源義家像から大國魂神社、ふるさと府中歴史館、国司館と家康御殿史跡、高安寺と回り、午後4時ごろ分倍河原駅で現地解散します。	
3月23日(土) 午後2時～3時30分	講座(座学)	三鷹ネットワーク大学	

講座概要	
<p>第1回 3月9日(土)</p> <p>講座(座学)</p> <p>※「中世武蔵国絵図」を配布します。</p>	<p>「中世武蔵国絵図」から武蔵の地誌を学ぶ</p> <p>多摩川は江戸時代には玉川と呼ばれていました。さらに遡ると多磨川、多麻川、丹波川、多波川など様々に記されています。「玉川」とはどこのことなのでしょう。武蔵国は大国で、南と北に勢力圏が分かれ、南は多摩川流域、北は荒川流域で構成されていました。武蔵国はなぜ「武蔵」と呼ばれるのか、「武蔵野」とは何処のことを言うのか。武蔵国の一宮はさいたま市大宮区にある氷川神社ですが、江戸時代の総社大國魂神社の一宮は小野神社(府中市)でした。様々な地誌の背景を「中世武蔵国絵図」から読み解いてみましょう。</p>
	<p>武蔵国の国府「水都府中」を歩く</p> <p>府中はなぜ国府になったのかでしょうか。国府たる条件は多々あるなかで、水の条件が大きかったと考えられ、「水都府中」と位置付けることができます。水都府中では、浅間山(せんげんやま、府中市浅間町四丁目、若松町五丁目)に登ると多摩川や多摩丘陵の横山も一望できました。現在では眺望が開けていないので、本講座では京王線・府中駅から分倍河原駅(京王線・JR南武線)まで、水都府中を歩きます。源義家像から大國魂神社、ふるさと府中歴史館、国司館と家康御殿史跡、高安寺と回り分倍河原駅で解散です。途中、歴史探索と地形、水系観察を行いながら武蔵国府の景観を思い描きつつ歩きます。</p> <p>現地視察について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩距離は合計約3km ・持ち物は第1回講座で配布する資料(地図等)、必要に応じて飲み物等 ・防寒も意識しつつ歩きやすい服装、履物でいらしてください。 ・現地集合・現地解散となります。現地までの往復交通費はご自身で負担願います。 ・雨天の場合は、三鷹ネットワーク大学での講座(座学)に切り替えます。 ・三鷹ネットワーク大学が加入しているNPO活動保険適用対象となります(事故・怪我等の保障)。
<p>第2回 3月16日(土)</p> <p>現地視察</p>	<p>水都府中の水系構造と武蔵野の景観</p> <p>「水都府中」とは何を意味するのでしょうか。江戸時代に徳川家康が完成させた「水都江戸」の前身として「水都」のあるべき姿を探ります。奈良時代に武蔵国が東山道から東海道に付け替えられたことにより、武蔵の中心は東に移り、徳川家康の入府以降は江戸が中心となり今日の東京にまで引き継がれています。江戸が中心になったのは偶然ではなく、府中と同様に豊かな水系構造があつたのでした。その決め手は河川というより目に見えない地下水の存在が大きかったといえます。東京が大都市を維持できる理由も地下水にあり、目に見える景観を作り出してきた基層としての水系構造に注目してみましょう。</p>
<p>第3回 3月23日(土)</p> <p>講座(座学)</p>	

講師紹介(敬称略)

神谷 博(かみや ひろし) 法政大学江戸東京研究センター客員研究員

法政大学エコ地域デザイン研究センター客員研究員

1949年東京都生まれ。一級建築士。元法政大学講師。NPO雨水まちづくりサポート理事長。景観アドバイザー(新宿区、千代田区、渋谷区、板橋区、山梨県、他)。多摩川流域懇談会運営委員長。野川流域連絡会元座長。

著書:「井戸と水みち」(1998年)、「雨の建築学」(2000年、いずれも共著・北斗出版)他。

業績:1993年及び1994年山梨県建築文化奨励賞、2011年度土木学会賞・デザイン賞優秀賞、

「中世武蔵国絵図」制作(2020年7月)

三鷹ネットワーク大学 受講者登録用紙

*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。インターネットでもご登録ができます。

※太枠内の項目は必須事項です。

登録日：西暦 年 月 日

お 名 前	フリガナ	性 別 (任 意)	生 年 月 日	西 暦 月 日	年 月 日
受講者区分 ※該当する番号を1つ選んで○をつけてください。	(1) 【市 民】 三鷹市にお住まいの方(学生は除く) (2) 【市民(在勤・在学)】 三鷹市外にお住まいで、三鷹市内の職場・学校に通われている方 (3) 【市民学生】 三鷹市にお住まいの学生の方 (4) 【会 員】 勤務先、学校等が三鷹ネットワーク大学の正会員または賛助会員の方 (5) 【一 般】 三鷹市外にお住まいの方				

Eメール					
緊急連絡先	携帯電話番号：	携帯Eメール：			

《郵便物の送付先※振込用紙や受講証等のお送り先を、下記から選んでください。》

郵便物送付先	ご 自 宅	勤 務 先
--------	-------	-------

《ご自宅》

ご 住 所	〒 —				
電話番号		F A X			

《勤務先・学校名等》

勤務先名称	※学生の場合は学校名と学部・学科名				
勤 務 先 部 署 名	※学生の場合は学籍番号	役職名			
ご 住 所	〒 —				
電話番号		F A X			

《ご職業等》※職種・業種について該当するものにそれぞれ○をつけてください。

勤務先業種	①官公庁 ②団体 ③教育 ④宗教 ⑤医療 ⑥建設 ⑦金融・保険 ⑧製造 ⑨運輸・通信 ⑩農林水産 ⑪電気・水道 ⑫不動産 ⑬卸・小売 ⑭飲食 ⑮IT・ソフト ⑯その他
職業(職種)	①経営者 ②役員・管理職 ③一般事務 ④営業 ⑤販売・サービス ⑥生産管理 ⑦研究開発 ⑧専門職(医師・弁護士等) ⑨教職 ⑩自由業 ⑪専業主婦 ⑫無職 ⑬その他

《三鷹ネットワーク大学からの情報提供ご希望の有無》

情報提供	希望する	希望しない
------	------	-------

《興味をお持ちの分野》※3つまでお選びください。

1経営・経済学 2歴史学 3法学 4文学 5工学 6教育学 7福祉・医療 8介護・看護 9コンピューターサイエンス 10アジア・アフリカ系言語 11 総合政策 12 国際関係論 13 政治学 14 天文学 15 農学 16 臨床心理学 17 カウンセリング学 18 社会心理学 19 国際コミュニケーション学 20 スポーツ医学 21 マーケティング学 22 人間環境学 23 キャリアデザイン等 24 社会福祉学 25 情報科学 26 情報コミュニケーション学 27 グローバルビジネス学 28 宗教学 29 平和学 30 生物学 31 化学 32 数学 33 教養学 34 建築学 35 その他
--

◆受講者登録について *すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、受講者登録の手続きが必要です。講座のお申し込みをする前に(講座のお申し込みと同時に)、必ず受講者登録を済ませてください。(性別欄の記載は任意です。未記載とすることも可能です。)ご登録をさせていただくことにより、今後お申し込みされる際に、ご住所等、個人情報を記入する手間がなくなります。またインターネットからのお申し込みも可能となります。

◆個人情報について

ご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

D38


三鷹ネットワーク大学企画 連続講座

玉川をめぐる歴史と景観～中世武蔵国絵図を読み解く～

申込用紙

受講者 番号	E から始まる数字 6 ケタをご記入ください。 E _ _ _ _ _ _	申込日	西暦	年	月	日
名前	フリガナ	電話番号				

※申込欄に○をご記入ください

申込欄	講座タイトル・講座日程	受講料	受付印
	<p>玉川をめぐる歴史と景観～中世武蔵国絵図を読み解く～ 講師：神谷 博（かみや ひろし） 法政大学江戸東京研究センター客員研究員 法政大学エコ地域デザイン研究センター客員研究員</p> <p>第1回 講座（座学） 「中世武蔵国絵図」から武蔵の地誌を学ぶ 2024年3月9日 土曜日 午後2時～3時30分</p> <p>第2回 現地視察 武蔵国の国府「水都府中」を歩く 2024年3月16日 土曜日 午後1時～4時</p> <p>第3回 講座（座学） 水都府中の水系構造と武蔵野の景観 2024年3月23日 土曜日 午後2時～3時30分</p> <p>Web 申込はこちらから </p>	2000 円	文化・教養

※ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422（40）0313 ファックス：0422（40）0314

[郵送での申込]〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル 3 階 三鷹ネットワーク大学事務局

【ご受講について】

●お申し込みについて

お申し込みは講座前日（前開館日）の午後 9 時（日曜日は午後 5 時）で締め切ります。当日のお申し込みは受け付けません。（一部の講座は除く。）

●受講料のお支払いについて

受講料は、講座の当日窓口でお支払い（電子決済または現金）いただくか、お支払いのご案内等に沿って事前にお支払いください。

●受講のキャンセルについて

- 講座申し込み後にお客様の都合により受講をキャンセルする場合は至急事務局まで電話でご連絡ください。
- 一度申し込んだ講座を別の講座に変更することはできません。申し込み済みの講座をキャンセルしてから、再度希望の講座にお申し込みください。ただし、講座申し込み期間内のみ受け付けます。

●受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。

承認	受付担当